

緑の風

JR東労組
NEWS



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年8月1日 No.14

ローカル線の将来像を考えよう

◆存廃協議「平均1000人未満」

7月25日、国交省の有識者会議が赤字路線の存廃について提言を示し、輸送密度（1kmあたりの1日の平均通過人員）が平時1000人を下回る等の路線について、国と自治体、事業者が改善策を協議するため、広域的調整が必要な線区については国が「特定線区再構築協議会（仮称）」を設けていくと発表しました。

対象路線では鉄道輸送高度化のほか、バスやBRTへの転換、上下分離方式の導入について、議論開始後3年以内に結論を出すと想定されています。

注：右表の区間が必ずしも協議会の対象になるとは限りません。

JR東日本の「輸送密度が平時で1000人未満」の区間

路線	区間	路線	区間
八戸線	鮫～久慈	陸羽西線	新庄～余目
津軽線	青森～三厩	米坂線	米沢～坂町
大湊線	野辺地～大湊	越後線	柏崎～吉田
山田線	盛岡～宮古	上越線	越後湯沢～ガーラ湯沢
釜石線	花巻～釜石	弥彦線	弥彦～吉田
北上線	北上～横手	磐越西線	喜多方～五泉
大船渡線	一ノ関～気仙沼	磐越東線	いわき～小野新町
花輪線	好摩～大館	只見線	会津坂下～小出
五能線	東能代～五所川原	飯山線	飯山～越後川口
陸羽東線	古川～新庄	中央本線	辰野～塩尻
気仙沼線	前谷地～柳津	大糸線	信濃大町～南小谷
左沢線	寒河江～左沢	吾妻線	長野原草津口～大前
奥羽本線	新庄～湯沢	水郡線	常陸大宮～安積永盛
羽越本線	酒田～羽後本荘	小海線	小淵沢～小海
		久留里線	久留里～上総亀山

◆JR東日本のローカル線、35線区66区間が全て赤字

7月28日、JR東日本のローカル線（輸送密度2000人未満）について区間ごとの収支が初めて公表されました。東北・上信越の線区が数多く挙げられる中、営業係数が最も高いのは千葉県の久留里線（久留里～上総亀山間）で、100円の収入を得るために15,546円の費用を要するといわれています。



◆ダイヤ改正の都度、不便になる現状

ダイヤ改正に関して各地本定期大会では「1両編成に減車され、車内の混雑が凄まじい」「混雑のお詫び放送を毎回行っている」「会社の実態調査が数日しか行われず不十分」「運賃ほ脱対策が不十分」など、施策やダイヤ改正によって、利便性やサービス低下と言わざるを得ない現実が数多く職場から挙げられています。

ローカル線問題や各種施策など様々な課題に対して、私たちは地域との関係性、労働条件の維持・向上などの視点に踏まえ、向き合っていく必要があります。

私たちの職場と仕事、生活に関わる重要な問題！仲間と共に真剣に向き合おう！